

# 第 5 学年 国語科学習指導案

日 時：平成26年10月 9日（木）5校時  
児 童：第5学年 男子2名 女子1名 計3名  
指導者：小 松 愛

- 1 単元名 説明のしかたについて考えよう  
理由づけを明確にして説明しよう  
中心学習材 天気を予想する  
グラフや表を引用して書こう (光村図書 銀河)

## 2 単元について

### (1) 児童について

児童は説明的文章への関心が高く、読んで考えたことを交流しながら楽しんで学習している。

これまでに行った「見立てる」「生き物は円柱形」の学習では、文章構成に着目して要旨をとらえ説明の工夫について考える学習を行ってきた。また、「読書生活について考えよう」の学習においては、調査結果をグラフや表に表して報告する文章を書く経験をしている。しかし、内容についての自分の考えは広がるものの、筆者の立場に立って構成の工夫や意図について考えることを苦手としている。また、自分の考えを書くことはできるが、根拠をもとに説明する力は十分に身に付いていない。

本単元を通して、筆者の立場に立って論の展開の工夫や資料の活用のしかたについて考え、読み手を意識した意見文を書けるようにしたい。

### (2) 中心学習材について

本単元は、まず説明的文章「天気を予想する」を学習する。この文章は、問いと答えを3回繰り返すことで筆者の主張にせまる構成になっており、論の展開の工夫について考えることができる。また、資料を効果的に用いた説明があり、資料を用いる意図や効果について考えるのに適した文章であると言える。その学習を生かして、「グラフや表を引用して書こう」で将来のくらしやすさについて意見文を書きまとめる活動を行う。

本単元を貫く言語活動として、「資料を効果的に用いた意見文を書く」ことを位置付けた。「天気を予想する」で学習した論の展開や資料の活用を工夫し、「グラフや表を引用して書こう」で根拠をもとに説明する力を身につけることができると考える。そのため、領域を複合させて単元を構成した。

## 3 単元の目標

### 【国語への関心・意欲・態度】

- ・読み手を意識した説明の工夫について考えながら、文章を読んだり書いたりする。

### 【読むこと】

- ・論の展開や資料の活用の工夫について考えながら文章を読むことができる。

### 【書くこと】

- ・資料を効果的に用いながら自分の考えが伝わるように書くことができる。

### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・文章の中での語句と語句の関係について理解することができる。

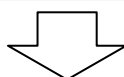
#### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
・読み手を意識した説明の工夫について考えながら文章を読んだり書いたりしようとしている。	・筆者の主張，論の展開，資料の活用についてその効果と結びつけて文章を読みとっている。	・自分の考えが伝わるように，根拠となる効果的な資料を用いるとともに，資料と関連づけて文章を書いている。	・語句と語句の関係に注目し，意味が捉えやすくなっていることを理解している。

#### 5 単元の指導計画（全10時間扱い）

##### 【身に付けさせたい力】

- 論の展開や資料の効果を考え，説明の工夫をとらえる力。
- 資料を用いながら根拠を明確にして文章を書く力。



##### 【単元を貫く言語活動】

資料を効果的に用いた「なるほど！」意見文を書こう。

次	時	学習活動	評価
1	1	・学習課題を設定し，学習計画を立てる。 ・「将来のくらしやすさ」について話し合い，自分の考えをもつ。	【関】・学習の見通しをもち，自分の考えを整理しながら話し合っている。（発表，ワークシート）
2	2	・「天気を予想する」を読み，初発の感想をもつ。	【読】・叙述に基づいた初発の感想をもっている。（発表，ノート）
	3	・文章構成をつかみ，要旨をとらえる。	【読】・要旨をとらえ，150字程度にまとめている。（発表，ワークシート）
	4	・文章を書く時の技について考え，まとめる。	【読】・文章を書く時の技についてまとめている。（発表，ノート）
	5	・資料の効果について考え，まとめる。	【読】・資料の効果について種類ごとにまとめている。（発表，ノート）
	6 本 時	・資料を用いる時の技について考え，まとめる。	【読】・資料を用いる時の技についてまとめている。（発表，ノート）
3	7	・意見文の書き方を知り，構成を考える。	【書】・意見文を書くための技をとり入れて構成を考えている。（発表，ノート）
	8	・意見文を書く。	【書】・資料と結びつけながら根拠を明確にした意見文を書いている。（ワークシート）
	9		
	10	・書いた意見文を読み合い，感想を交流する。	【書】・書き手がとり入れた工夫について気づいている。（交流）

## 6 本時の指導（6／10）

### (1) 目標

文章を読み、効果的な資料の使い方を考えることができる。

### (2) 評価規準

筆者が資料を選んだ理由を考え、効果的な資料の選び方を筆者の技としてまとめている。

#### <支援の必要な児童への手立て>

板書を用いながら、考えをまとめるためのヒントを助言する。

穴埋めできる文章を提示する。

### (3) 本時の指導にあたって

#### 【言語活動の工夫について】

本時は、文章中の資料に着目し、効果的な資料の使い方について考える学習である。前半では、1段落で筆者が表を用いた理由について、自分の考えをノートに書かせる。児童から出た意見を「資料の内容」「筆者の考え」に分類しながら黒板にまとめ、関係性に着目させて話し合わせる。5段落でも同様に確認することで客観性を高め、1段落との共通点について考えさせながら本時のまとめにつなげる。授業の後半には、意見文で用いる資料について考える時間を設定し、本時の学びをすぐに適用できるようにする。

#### 【小規模校の特色を生かした工夫について】

学習アンケート調査の結果をふまえて、全員が自分の考えをもって学習に参加できるような工夫をとり入れる。考えを出し合う前には、自分の考えをノートに書かせて整理させる。考えがもてない児童には、どこでつまづいているのかを把握し、適切な助言を行うようにする。話し合いの場面では、児童が考えを話す時間をできるだけ確保し、主体的に学習が進むようにしたい。本時のまとめを書く場面では、一人一人の進捗をよく見て、個に応じた適切な助言や支援を行う。意見文の資料を考える際には、学習を想起させるなどの必要な言葉かけをし、本時の学びと連動した活動ができるようにする。

(4) 展開

段階	学習活動	留意点・ 支援◎ 評価☆
導入 (3分)	<p>1 学習課題をとらえる。</p> <p>○課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">資料を用いる時の技について考え、まとめよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画表を用いて、課題を確認する。</li> </ul>
展開 (40分)	<p>2 課題を解決する。</p> <p>○①段落を読み、筆者はなぜこの資料を用いたのかを考え、話し合う。</p> <p>○資料を用いる時に大切なことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の内容が、筆者の考えと合っている。</li> </ul> <p>○⑤段落を読み、筆者はなぜこの資料を用いたのかを考え、話し合う。</p> <p>○資料を用いる時の技についてまとめる。</p> <p>3 意見文で活用する資料について考える。</p> <p>○本時で学んだ技を生かしながら、意見文に用いる資料について考える。</p> <p>○考えたことを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをそれぞれノートに書かせてから発表させる。</li> <li>・考えが整理されるように板書を工夫する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①段落同様、自分の考えをノートに書かせて発表させる。</li> <li>・資料から必要な情報をとり出す必要性も押さえる。</li> <li>・①段落との共通点を考えさせる。</li> <li>・「筆者の技」としてまとめる。</li> </ul> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px auto;"> <p>☆評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を用いた理由を考え、資料を用いた時の技についてまとめている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(発表, ノート)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">資料は自分の考えと合ったものを用いるべし</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎必要に応じて、個に応じた助言や穴埋めできる文章の提示を行う。</li> <li>・自分の使いたい資料と伝えたいことが合っているかを確認しながら資料を選ばせる。</li> </ul>
終末 (2分)	<p>4 学習をふりかえり、次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、次時の予告をする。</li> </ul>

(5) 板書計画

資料を効果的に用いた「なるほど！」意見文を書こう。

天気を予想する

武田 康男

①段落

資料を用いる時の技について考え、まとめよう。

なぜ用いたのか

本文拡大揭示

⑤段落

なぜ用いたのか

本文拡大揭示

まとめ

資料は自分の考えと合ったものを用いるべし